

## Akamai、AI 駆動型のインタラクションと商取引での信頼性を実現する エージェント型セキュリティフレームワークを発表

※本リリースは2026年6月15日(現地時間)米国マサチューセッツ州ケンブリッジで発表されたプレスリリースの抄訳版です。

- 統合フレームワークにより、新たな AI 駆動型経済におけるインタラクションの安全性と拡張性を確保
- 「Know Your Agent」プロトコルが、AI エージェントを認証されたユーザーと紐付けることで、アイデンティティとヒューマンアトリビューション（人間帰属情報）を検証
- リアルタイム意思決定レイヤーが、アイデンティティと行動を関連付けることで、安全なデジタルコマースを自動化
- 分散されたエッジで適用することで、パフォーマンスを維持しながら、すべての自動リクエストを検証することが可能
- 可視性の向上によりエージェントのトラフィックの識別・管理・収益化が可能に

AI エージェントがユーザーに代わって行動する機会が増えるにつれて、あらゆるリクエストにおいて、アイデンティティ、意図、信頼性に重要な疑問が生じています。この問題に対処するために、[Akamai Technologies](#) (NASDAQ : AKAM) は、[ボット&エージェントコントロールソリューション](#)向けに統合的なエージェントフレームワークを発表しました。これは、アイデンティティ、可観測性、信頼性、エッジセキュリティを単一のリアルタイム意思決定レイヤーとして結合することにより、エッジでのスケーラブルな AI 駆動型のインタラクションを実現するものです。

パートナー企業とのエコシステムを通じて提供されるこのフレームワークは、6つの密接に連携した柱で構成されています。

- **アイデンティティと人間の帰属情報の検証** : Akamai は、[Visa との提携](#)を通じて、AI エージェントの認証を行い、安全で許可されたトランザクションを実現する信頼性の高い基盤を構築しています。Visa の [Trusted Agent Protocol](#) などのフレームワークとの統合により、決済環境におけるエージェントの動作方法が明確に定義され、認証や権限、取引レベルの信頼性に関してより明確な基準が設定されています。また、Akamai は、[Skyfire](#) および [Experian](#) との提携で「[Know Your Agent](#)」(KYA) フレームワークを通じて、信頼できる AI エージェントのアイデンティティを強化しています。これは、エージェントが自らのアイデンティティ、素性、意図を宣言する標準化された方法を提供し、エージェントを運用プラットフォームや代行対象のユーザーに紐付ける仕組みとなっています。KYA によって、AI エージェントを正当なものと確認できるだけでなく、身元が確かな特定の個人に代わって行動していることの検証も可能です。これにより、加盟業者が自動取引を安全に処理するために必要な説明責任が担保されます。

Visa の Growth Products and Partnerships 部門の責任者、SVP を務める Rubail Birwader 氏は「信頼できるアイデンティティと明確な許可がなければ、AI エージェントは大規模にコマースに参加することはできません」「Visa の Trusted Agent Protocol は、トランザクションレベルでエージェントの認証、認可、信頼性を定義するアイデンティティ層を提供し、企業と消費者が安心して取引できるようにします」と述べています。

Experian の Chief Innovation Officer である Kathleen Peters 氏は「デジタル商取引に AI エージェントが急速に浸透しつつありますが、その普及の度合いと速度は信頼によって決まります」「Experian Agent Trust フレームワークによって、アイデンティティの検証やリスク評価を行い、あらゆる取引における安心感を強化できます。これにより Experian では、企業が AI 駆動型のインタラクションの透明性と信頼性を確保する取り組みを支援します。Akamai やその他のエコシステムのリーダーとの提携は、消費者と企業がリアルタイムで信頼性を確認できるエージェント型コマースの基盤を構築する取り組みが、業界全体で行われていることを反映しています」と述べています。

Skyfire の共同創業者兼 CEO である Amir Sarhangi 氏は「信頼できるアイデンティティとトランザクションを実行する能力がなければ、AI エージェントは経済活動に参加できません。Skyfire はその基盤を提供し、エージェントが認証を行い、ポリシーに従って動作し、グローバルな決済ネットワークにアクセスできるようにします。Akamai と協力することで、当社はトラストレイヤーをエッジにまで拡張し、企業が既存システムの再構築をしなくても、信頼できるエージェントを安全に利用できるようにしています」と述べています。

- **ユーザー中心の認証**：Akamai は、人間と AI エージェント間の引き継ぎ時にセキュリティを維持するために、[Auth0](#) や [Ping Identity](#) などのアイデンティティプロバイダーと統合しています。こうした統合により、企業は行動分析や多要素認証などの既存のセキュリティポリシーを、顧客が利用する AI エージェントにも適用できるようになります。これにより、エージェントの行動が、ユーザーの確立されたアイデンティティ、ふるまい、意図と一貫性を保つことが保証できるようになります。

Ping Identity の SVP Product Management である Loren Russon 氏は「AI エージェントでは、セッションベースの信頼だけでは十分でないため、新たな信頼上の課題が発生します。組織は、エージェントが誰を代行しているか、どのような権限が与えられているのか、その行動がリアルタイムでどのように統制されているかを理解する必要があります」「Ping のランタイムアイデンティティ管理機能と、Akamai のエッジでの適用および可視化の機能を組み合わせることで、企業は AI 駆動型のインタラクションにおいても、より強固な説明責任と監視を備えたアイデンティティおよびアクセス制御を実現できます」と述べています。

- **適応型の信頼性分析**：このフレームワークにより組織は、ブラウザー、ボット、エージェント間のあらゆるやり取りにおいて信頼性と意図を動的に判断できます。これは二元的な意思決定から脱却し、ユーザーを中心に据えた信頼性のスペクトラムへと移行するものであり、顧客はどのやり取りがビジネス成果に貢献し、どのやり取りが不正や詐欺、運用リスクにつながるかを特定できるようになります。
- **エッジベースの適用**：AI インタラクションにおけるセキュリティとパフォーマンスの要件は、Akamai の分散型エッジネットワークを通じて満たすことができます。Akamai はハイパフォーマンスコンピューティングを活用し、エージェント型のリクエストのリスクと意図を瞬時に評価します。この意思決定をエッジで処理することで、ユー

ユーザー体験のスピードを損なうことなくセキュリティと制御を維持できるよう、企業を支援します。

- **コンテンツの収益化と価値の交換**：AI モデルやエージェントによる Web コンテンツの利用が増加しているため、このフレームワークでは公正な対価を得る仕組みを提供します。Akamai は、[TollBit](#) および Skyfire との連携を通じて、出版社やコンテンツ所有者がアクセス権を交渉し、トークンベースの従量制課金モデルを導入できるよう支援しています。これにより、企業はデータを収益化しつつ、AI エージェントが機能するために必要なライセンスに基づくアクセスを提供できるようになります。

TollBit の共同創業者兼 CEO の Toshit Panigrahi 氏は「AI エージェントはインターネット上の新たな訪問者であり買い物客です。Web サイトにはエージェントと取引する手段が必要です。Akamai による、エッジでエージェント型トラフィックを識別し、TollBit の Agent Site にリダイレクトする Akamai の機能を活用することにより、企業はエージェントを専用の最適化された環境に送信し、独自のアクセスルールを適用して新たな収益源へと転換することができます。これにより、AI トラフィックがコストではなく価値を生むリソースになります」と述べています。

- **運用状況の可視化とトラフィック分析**：Akamai は、[TrafficPeak](#) と業界をリードする自社の Web セキュリティ分析技術を活用して、人間のユーザー、有益な AI エージェント、悪性ボットを区別し、企業が Web トラフィックの包括的な状況を把握できるようにします。大規模なログ分析により、セキュリティチームやビジネスチームで、エージェントが自社サイトとどのように関わっているかを長期的に把握でき、アクセス制御やビジネス戦略の改善に必要なデータが得られます。

Akamai の Security Strategy 担当 VP 兼 CTO、Patrick Sullivan は「AI エージェントが、私たちのクリック操作に代わって行動し、購買取引を処理しています。これが機能するためには、企業はエージェントだけでなく、その背後に誰がいるのか、何をしようとしているのかを理解する必要があります」「私たちは、アイデンティティが可視性を生み出し、可視性が信頼を築き、その信頼に基づく意思決定が企業の安全な成長と AI を活用した新たなビジネスモデルにつなげるべくこの仕組みを構築しました。私たちは、企業がセキュリティに妥協することなく、AI を受け入れる自信を持てるように支援しています」と述べています。

Akamai は、エコシステム全体を通じて、ボット、エージェント、ユーザーの管理を統合的に行うための企業の取り組みを支援しています。その結果、すべてのやり取りをリアルタイムで検証・理解・対応できる、スケーラブルなモデルが実現しました。

## Akamai について

Akamai は、オンラインビジネスの力となり、守るサイバーセキュリティおよびクラウドコンピューティング企業です。当社の市場をリードするセキュリティソリューション、優れた脅威インテリジェンス、グローバル運用チームによって、あらゆる場所でエンタープライズデータとアプリケーションを保護する多層防御を利用いただけます。Akamai のフルスタック・クラウド・コンピューティング・ソリューションは、世界で最も分散化されたプラットフォームで高いパフォーマンスとコストを実現しています。多くのグローバル企業が、ビジネスの成長に必要な業界最高レベルの信頼性、拡張



性、専門知識を提供できる Akamai に信頼を寄せています。詳細については、[akamai.com](https://akamai.com) および [akamai.com/blog](https://akamai.com/blog) をご覧いただくか、[X](#) や [LinkedIn](#) で Akamai Technologies をフォローしてください。

※Akamai と Akamai ロゴは、Akamai Technologies Inc. の商標または登録商標です

※その他、記載されている会社名ならびに組織名、ロゴ、サービス名は、各社の商標または登録商標です

※本プレスリリースの内容は、個別の事例に基づくものであり、個々の状況により変動するものです